

保護者と連携をした「親子ふれあい活動」の取組

佐賀県

小城市立小城^{おぎ}中学校

全校生徒数608名

(男子321名 女子287名)

電話番号 0952 (73) 2191

実践内容

実施目的

- ①生徒に楽しみながら運動や活動を行わせることで、運動への興味・関心を高め、運動に親しむ態度を養い、将来に向けた体力向上に役立てる。
- ②様々な運動や活動を通して、親子のコミュニケーションの場を設定し、楽しみながら良好な家族どうしのつながりを深める。
- ③保護者に企画・運営を委ねることで、保護者間のつながりを密にするとともに、当事者意識を喚起する。
- ④教職員と保護者の関係を良好に保ち、一人一人の生徒の状況把握や学校の教育活動への理解と協力を深める場とする。

実施内容

1 「親子ふれあい活動」の実施

(1) 各学年の学級役員会による主体的な企画・運営

- ①各学年の保護者の学級役員が主になって3、4回の学級役員会を開催し、活動内容を決定する。会議は保護者の学年部長、副部長が中心になり進め、学校からは学年の担当職員が参画する。活動内容や日程等を載せたチラシ等の作成、当日の役割等を保護者で分担する。
- ②実施時期については、学級役員会の中で決定をする。3年生は夏休み、1・2年生は2学期の休日に、半日を使って実施する。
- ③休日の実施で希望制であるが、ほとんどの生徒や保護者が参加するよう、連絡体制を整え、保護者間で参加を促す。
- ④学校は会議、活動場所を提供し、活動内容の調整や協力を行う。

(2) 「親子ふれあい活動」の実際（2～4種目程度を組み合わせで行う）

- ①ミニ運動会形式の活動（障害物競争、玉入れ、リレー活動等を学級対抗で実施）
- ②ウォーキング形式の活動（サンライズウォーキング、〇〇祈願ウォーキングを実施）
- ③球技大会形式の活動（ミニバレーボール、ドッジボール大会等を学級対抗で実施）
- ④ボランティア活動と連携した活動（空き缶拾い、地域清掃等を実施後、ジャンケン大会、フォークダンス等を実施）

実施上で工夫したこと

- ①保護者が主体的に学級役員会を進められるよう支援した。また、参加者を確保するため保護者が声かけ等を協力して行うよう、学級役員会の企画・運営とし、当事者意識を高めた。
- ②保護者と生徒の参加者を増やしたり、運動に対する抵抗感を取り除いたりするために、生徒が喜んで運動できるもの、親子でふれあいながら運動や活動できるもの、誰もが取り組みやすい種目、参加しやすい内容になるよう工夫をした。
- ③事前に活動場所の安全点検を行い、危険箇所の確認をした。また、校外で活動を行う場合は本部を設置し、緊急時には即時に対応できるように体制を整えた。
- ④運動や活動後も親子で実施して楽しめるきっかけとなるよう、閉会時には保護者の代表から運動の大切さ、心地よさについて話していただき、各家庭での運動への意欲を喚起した。

主な成果



- ①保護者との連携した取組によって、日常、積極的に運動しない生徒や、体力が低い生徒も積極的に「親子ふれあい活動」に参加して運動をする機会を与えた。
- ②平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査では男子の94.6%（平成20年度：93.5%）、女子の84.2%（平成20年度：81.0%）が「運動が好き」または「やや好き」と答えており、運動への肯定感が高まった。
- ③保護者の当事者意識が高まり、熱心な取組となった。



ボランティア活動

親子で一緒に清掃活動しながら歩く様子



親子玉入れ

ミニ運動会形式の玉入れの様子



フリースロー大会

球技大会のフリースローリレーの様子



表彰式(保護者学年部長さん)

球技大会での賞品を受け取る



親子ふれあいウォーキング

ウォーキング前の保護者からの説明



3社参りウォーキング

ウォーキング途中の様子



サンライズウォーキング

ウォーキング途中のスナップ



参加賞をもらう

ウォーキング後に飲み物をもらう